

04/18・中国、6.9%成長に加速 (1-3月) 政府主導で投資拡大 < 1 >

公共投資で成長かさ上げ 不動産バブルの懸念も

- ・東南アジア「不公正貿易」に反発 トランプ政権が4か国名指し

04/19・日米経済対話 米、対日FTAに意欲 日本と溝 為替問題、なお警戒

ペンス米副大統領「TPPは過去のもの」 協力分野で議論深まらず 3分野、年内再協議

- ・英、6月8日総選挙 メイ氏「安定政権を」 EU強硬離脱に支持訴え < 2 >
- ・中国不動産、止まらぬ過熱 3月、9割の年が上昇 価格抑制策の効果見えず
- ・雇用・調達で「米国第一」 トランプ氏が大統領令署名 ビザ厳格審査
米、高度人材確保に懸念 ビザ厳格化でIT業界に打撃 競争力低下の恐れ
- ・日銀委員に緩和積極派 政府人事案、強まるハト派色 出口戦略に影響も

04/20・日本貿易黒字6年ぶり 昨年度4兆円 東日本大震災後で初 < 3 >

輸出は前年度比3.5%減、輸入は10.2%減 3月は輸出、輸入ともに大幅増

- ・中国、新たに6兆円減税 景気下支え 農業・中小企業を対象 < 4 >
公共投資には資産バブルや債務依存悪化の懸念 代わりに大型減税で
- ・米大手銀、大幅増益相次ぐ (1-3月) 市場活況・利上げで
金融規制緩和、議論遅れ 政策効果、具体像見えず

04/21・TPP、米抜きでも変えず 関税や通商ルール 日本、10か国と調整へ

- ・G20 (20か国・地域財務相・中央銀行総裁会議) 開幕 (20日、ワシントン)
日米、為替問題は財務相間で議論、方針を確認

04/22・G20、通貨安競争の回避確認 世界経済回復も先行きは懸念

米財務長官「公正な通貨体制を」 IMFに監視強化要請

- ・米大型減税案26日公表 21日にトランプ大統領語る、就任100日へ実績作り

04/23・トランプ氏 税制・金融巡り大統領令 (21日) 規制緩和へ熱意強調

100日への焦り 大統領令連発も実現に議会の壁厚く

- ・G20閉幕 緊迫の国際情勢 リスクに備えを
- ・TPP11 安倍首相「いずれ米国迎え入れ」 日米対話後に照準 < 5 >

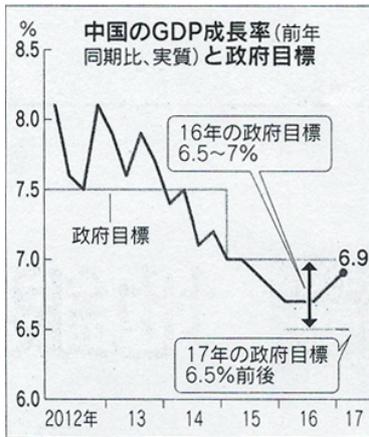
04/24・仏大統領選 マクロン氏 (中道無所属) ルペン氏 (極右政党) 5月7日決戦投票

既存政党への不満が噴出 EU統合問う

格差が極右台頭招く 移民多き地方支持 都市部は中道 < 6 > < 7 >

- ・海自、米空母と共同訓練 護衛艦2隻 北朝鮮の抑止狙う

<1>

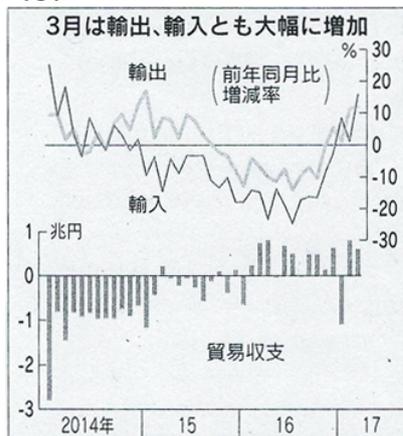


<2>

メイ首相発言のポイント

- 閣議で総選挙を6月8日に実施と合意
- EU離脱へ議会は団結すべきだが分断
- 議会の分断はEU離脱へ政府の能力をそぎ、国を不安定化する
- 19日に議会で総選挙を提案
- 総選挙は、強く安定したリーダーである私が、労働党などの不安定な連立政権かの選択だ
- 解散総選挙は、EU離脱に際し求められる強く安定したリーダーシップの保証に必要

<3>



<4>

今回の減税は中小企業と農家の恩恵が大きい

- 減税規模は3800億円(約6兆円)
- 付加価値税(増値税)の税率を4種類から3種類に簡素化
- 農産品や天然ガスの付加価値税率は13%→11%に
- 中小企業の企業所得税の軽減対象を拡大
- 中小企業の企業所得税で研究開発費の控除拡大

<5>

米抜きTPPの発効で11カ国の歩調は合うか

TPPの枠組みを維持

日本、豪州、ニュージーランド、カナダ、メキシコ、シンガポール

中国引き込みを主張

ペルー、チリ

米との2国間FTAも模索

ベトナム

態度不明

マレーシア、ブルネイ

<6>

主要4候補の得票(開票率96%)

候補者	所属政党	得票	得票率
エマニュエル・マクロン	無所属(中道)	841万票	23.9%
マリーヌ・ルペン	国民戦線(極右)	753	21.4
フランソワ・フィヨン	共和党(中道右派)	701	19.9
ジャンリュック・メランシヨン	左翼党(極左)	687	19.5

(注)仏内務省まとめ

<7>

